

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	自立支援・放デイ グランアミスター		
○保護者評価実施期間	令和 7年 2月 20日		～ 令和 7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 23人
○従業者評価実施期間	令和 7年 2月 20日		～ 令和 7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来の自立に向けて、「生き抜く力」を育み、「自立」に向けた活動を行っている。	学校休業日に外出体験を通して公共施設や交通機関のルールやマナーを学ぶ機会を設け、お金の概念の理解など、実際の経験を通して生きたコミュニケーション力を育み、将来の自立に向けた取り組みを行っている。	子どもたちの意見を取り入れ、やりたい事(映画鑑賞・お出かけ・ボーリングなど)挑戦したい事(アルバイト・自炊)の実現に向けてサポートをしていく。
2	法人内に複数の放課後等デイサービス事業所があり、当事業所は、対象を5年生以上としていることから、療育活動の幅を広く検討することができる。	年齢に応じた様々な活動を取り入れられるように工夫し、企画している。	保護者や利用者本人のニーズに合った支援内容をこれまで以上に充実させられるように検討する。
3	レクリエーションインストラクターやスポーツレクリエーション指導者が複数いる。	レクリエーションを取り入れることで、楽しみながらコミュニケーションを図り、協力することや助け合うことを自然と学べる機会を取り入れている。	研修等への参加機会を設け職員の更なるスキル向上を目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新規利用児童の受け入れが難しい。	見学や新規申し込みの連絡をいただくが、定員によりお断りすることがある。年度によって、卒業する人数と新規利用児のバランスが合わず希望者全員を受け入れることが難しい。	曜日に分けることで一人でも多くの受け入れができるよう調整する。
2			
3			